



首都圏産業活性化協会発行

発行：一般社団法人首都圏産業活性化協会 〒192-0083 東京都八王子市旭町9番1号 八王子スクエアビル11階 TEL:042-631-1140
制作：かながわ経済新聞

TAMA経済NEWS

TECHNOLOGY ADVANCED METROPOLITAN AREA

Vol.55 2026.1&2

首都圏産業活性化協会会員の構成(令和7年12月10日現在総数572) ●営利法人:284(個人事業主、金融機関含む) ●教育機関:28 ●団体:75 ●自治体:21 ●個人会員:164(コーディネーター含む)

野長瀬裕二会長インタビュー

各地域と連携し ネットワークを拡大

首都圏産業活性化協会(TAMA協会)は、埼玉県、東京都、神奈川県やその周辺地域の企業や自治体、大学、産業支援機関などと連携し、ものづくり中小企業のネットワークを広げています。日本経済が為替の円安や物価高、人手不足に直面する中で、TAMA協会は2026年を迎えてどのような活動を推進していくのかについて、野長瀬裕二会長に話を聞きました。



AI、DX、ロボティクスに注目

——日本企業を取り巻く経済環境について、どのように見られていますか。

物価上昇や為替の円安、人手不足といった状況の中で、引き続きDX(デジタルトランスフォーメーション)やAI(人工知能)、ロボティクスの活用による生産性向上に取り組む動きが加速すると見えています。さらに、女性やシニア世代の活躍を後押しする動きも、活発化していくのではないのでしょうか。

ただ、国内企業の生産性が高まり賃金が上昇していくと、一人当たりの国内総生産(GDP)が上昇していくというシナリオもあり得るでしょう。

一方、積極的な経済政策により物価上昇圧力が強まる可能性もあります。これまでのように、インフレ率が賃金上昇率よりも高い状態が続くとすれば、政府としては経済政策の修正を迫られることもあるでしょう。

GX、脱炭素経営が重要なテーマに

——26年は、会員企業にとってどのようなテーマが注目されるのでしょうか。

冒頭に話したDXやAI、ロボティクスの活用に加えて、カーボンニュートラルも重要になってくると考えます。それというのも、いわゆる「改正GX推進法」による排出量取引制度(GX-ETS)が、26年4月に本格稼働するからです。

こうした中で、カーボンクレジット(個人や企業がCO₂排出削減・除去の取り組みを行った結果を認証したもの)や、GX-ETSに注目が集まると見られます。GX-ETSは、各企業に設定された温室効果ガス排出量の目標値(基準)と実際の排出量との差分を売買する制度です。

GX(グリーン・トランスフォーメーション)は大企業に限った話ではありません。中小・小規模企業にとっても、持続可能な社会の実現と企業の競争力強化が求められる昨今、GXや脱炭素経営は避けて通れない重要なテーマとなっています。気候変動への対応や脱炭素社会への移行、そして急速に進化するデジタル技術の活用は、企業の成長と生き残りに直結すると考えています。

広域的な連携をさらに加速

——近年は埼玉・東京・神奈川を基盤としつつ、群馬県や山梨県などにもネットワークを広げています。

第七期中期計画(24~26年度)では“地域力の向上”を掲げ、広域的な連携を進めております。今年もこの動きを加速していきたいと考えています。具体的には、3月13日、東京たま未来メッセを会場に、日本機械学会関東支部との共催で「TAMA技術連携交流会@八王子」を開催します。さらにその中では、山梨中央銀行・ファナックとのコラボレーション企画ゾーンを設置する予定です。

また、協会では、ものづくり産業の活性化を目指し、大手企業、大学・研究機関など

と中小企業の連携を促進する「TAMA技術連携交流会」を、06年から毎年開催しています。

神奈川県内では、神奈川県立産業技術総合研究所(KISTEC)、神奈川産業振興センター(KIP)との共催により、19年度から「TAMA技術連携交流会@KISTEC」を実施しています。今後も会員と新たなゲストらが定期的に集い、仲間を増やしながら相互研鑽することにより、イノベーション創出を目指していきます。

大学のシーズを把握・分析

——産学連携の現状と今後の取り組みについては、どうお考えでしょうか。

協会では、技術にプライドを持つ企業家・大学教員がプレゼンをし、そのプレゼンを聴いた意欲的な企業家との商談をマッチングすることを目指し「イブニングサロン」を開いています。25年は、日本ベンチャー学会とのコラボ企画として、東京農工大学(5月)・電気通信大学(7月)・東京都立大学(9月)を会場に実施しました。26年も引き続き、イブニングサロンを通じた大学などとの連携を深め、各大学を会場として大学の技術を把握・分析する活動を続けていきたいと思っています。

さらに、各大学の技術シーズを把握・分析した上で、こうしたシーズをビジネスに結びつけられるように、会員企業との有機的なネットワークの構築を進めていく考えです。そのためにも、産学連携に意欲的な研究者らとのパイプを太くしていく必要があると考えています。

会員企業が共創する場をつくる

——TAMA協会の活動を活性化させるために必要なことは何でしょうか。

一番大きな活性化策は、会員企業同士が何かを共に創り出す「場」をつくっていくことではないでしょうか。これから新しい会員が増えてくれば、企業間の出会いも生まれますし、地域的な広がりも期待できます。「産学官金」による会員組織としては、まだまだ拡大の余地があると見えています。これからも、会員数というボリュームと地域的な広がりの方を追い求めていきたいと思っています。

ただ、協会単独で取り組めることには限界がありますので、各地域の行政機関や産業支援機関、金融機関などと連携しながら、活動を進めていく必要があると考えています。連携という意味では、特に都道府県や市区町村との関係をさらに強化していきたいですね。

【略歴】 のながせ・ゆうじ

東京大学農学部農業工学科(現、生物・環境工学専修)卒業。早稲田大学大学院理工学研究科工業経営学専攻(現、経営デザイン専攻)修了。早稲田大学大学院アジア太平洋研究科国際経営学専攻(現、商学研究科)修了、博士(学術)。製造業の生産技術・生産管理・事業管理・事業企画等の実務を経て、リストラを機に大学に転ずる。IE、設計VE、子会社経営管理、原価企画、商品企画、新事業企画等の実務経験が研究の基礎。地域ベンチャー企業のビジネスモデル研究、経営システム研究、地域イノベーション研究に注力している。

芳賀啓一事務局長インタビュー

脱炭素経営やDXがキーワードに

首都圏産業活性化協会（TAMA協会）は、広域連携を掲げ、首都圏の自治体や産業支援機関などとの連携を加速しています。芳賀啓一理事・事務局長に、第七期中期計画の方向性や2026年の重点施策などについて聞きました。



——TAMA協会は広域連携を掲げて活動していますが、手応えはいかがですか？

協会の活動エリアは埼玉県、東京都、神奈川県を基盤としつつ、群馬県、山梨県も含めて首都圏全域に及んでいるため、各自治体からさまざまな業務を受託するケースがあります。例えば、埼玉県鶴ヶ島市で整備が進む「SAITAMAロボティクスセンター（仮称）」に関連した県内外企業のネットワーク形成や分野別セミナー、東京都八王子市に開設された「東京たま未来メッセ」で開催されるイベントの企画・運営に携わってきました。

また、神奈川県では「さがみロボット産業特区」に関連した企業データベース構築と並行して、神奈川県立産業技術総合研究所（KISTEC）、神奈川産業振興センター（KIP）と連携し、大企業の課題と中小企業の技術をつなぐ「TAMA技術連携交流会@KISTEC」を開催しています。こうした取り組みを通じて、県境を越えた活動が行えていると感じています。

——中小企業庁 令和7年度成長型中小企業等研究開発支援事業（イノベーション・プロデューサー実証事業）の成果についてはいかがでしょうか。

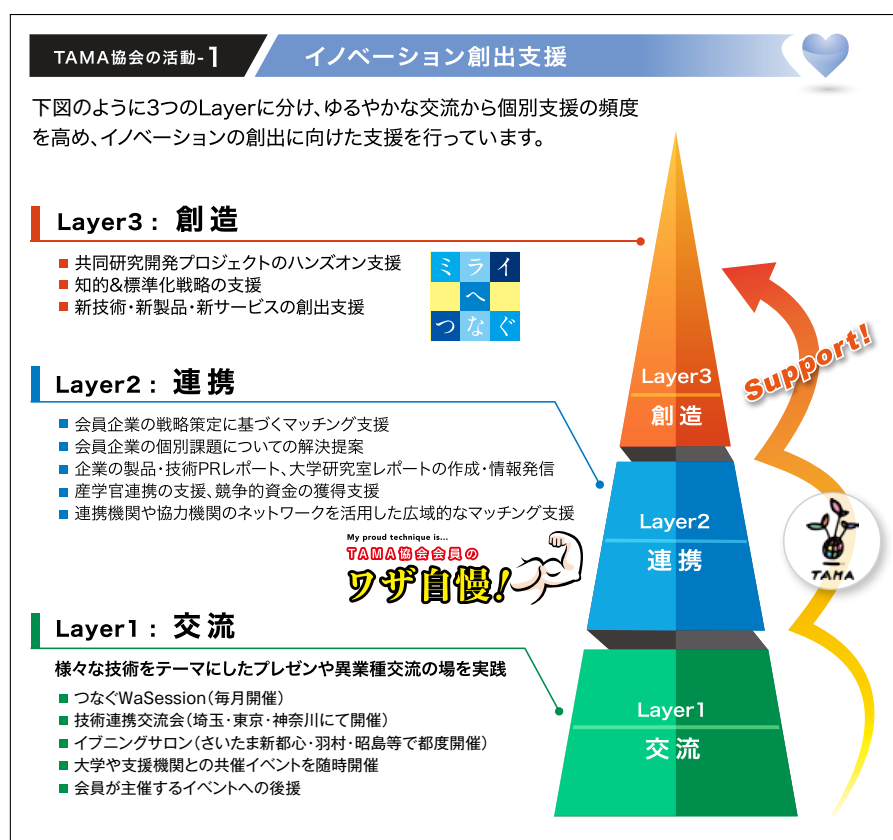
本事業は令和5年度より中小企業庁が実施している事業です。今年度の採択事業では、6社（7案件）を支援しました。詳細は本ページ下段の「ミライへつなぐ」でも触れてい

ますが、同事業の取り組みは3カ年に入り、ようやく具体的なサンプル製品やプロトタイプなどを展示会に出展できるようになってきました。すでに5社から何らかのアウトプットが出てきています。例えば25年9月に東京ビッグサイトで開催された「LIVING&DESIGN 2025」や、同年10月に福島県郡山市で開催された「メディカルクリエーションふくしま2025」という展示会に、会員企業が合同で出展するなど、着実に成果を積み上げています。

——25年度の協会活動と密接に関わりそうなテーマは何でしょうか？

国が重点政策として掲げているキーワードが2つあり、それは脱炭素（カーボンニュートラル）とDX（デジタル・トランスフォーメーション）化です。DXには、AIなどを活用した攻めとサイバーセキュリティ対策などの守りがあると考えますが、こうした攻めと守りの両面をにらみつつ、明日からすぐに活かせるノウハウを身に付けていただけるよう、AI・DX分科会を立ち上げています。

また、脱炭素については、会員が皆で集まって勉強会を開く段階を経て、これからは各社がいかに具体的に取り組むのかという、実践段階に入っていると認識しています。協会としても、企業がバリ協定に準じた温室効果ガスの排出削減目標を設定していることを示す国際認証「SBT※」に関



する啓発活動をしています。中小企業であっても、例えば自動車メーカーと取引している企業などは今後、SBT認証の取得が求められる可能性もあると考えられます。

——今後、協会の強みをさらに活かしていくためには、何が必要でしょうか。

26年は、「新たなクラスター形成」がキーワードになるのではないかと思います。こ

うした中、協会では25年から理事主導により立ち上げた3分科会（営業・売上UP、AI・DX、海外展開）の定着化とあわせて、事務局としては広域という独自の立ち位置を生かし、例えば特定の行政区を跨ぎ、志（こころざし）ある者同士を“つなぐ”、本紙「つなぐWa」の精神で、社会の課題を解決できる新たなビジネスを創出していきたいと考えています。

※SBT（Science Based Targets）



TAMA協会会員による
産学連携の紹介



支援企業と出展した「メディカルクリエーションふくしま2025」の風景

TAMA協会 令和7年度イノベーション・プロデューサー実証事業 6社の製品・サービス事業立ち上げを支援

首都圏産業活性化協会（TAMA協会）は、中小企業庁 令和7年度イノベーション・プロデューサー実証事業の採択を受け、TAMA協会職員およびコーディネーター 10名による支援チームを組織し、新たな製品やサービスの開発に取り組む会員企業6社に対するOJT支援を実施した。

企業6社、支援者10名を会員から選定

TAMA協会では、令和5年度・6年度に続いて、令和7年度のイノベーション・プロデューサー実証事業の採択を受け、イノベーション・プロデューサー（以下、イノペパ）の担い手の拡大に向けて、座学研修とOJT（企業訪問等）による中小企業のプロダクトイノベーションを支援した。

採択3カ年目となる本年度は、プロダクトイノベーションを自社の具体的な将来構想に掲げ、本業を維持・安定し（おおよそ年商10億円以上）、その上で成長を志向する中小企業

（計6社）を支援対象として選定し、協会職員およびTAMAコーディネーターから選抜した10名を対象に、座学研修とOJTを通じた個別支援の実践を行った。

対象企業は、以下の6社。

1. 株式会社industria（埼玉県入間市）
2. 株式会社協同商事（埼玉県川越市）
3. 株式会社イチカワ（東京都羽村市）
4. 株式会社リガルジョイント（神奈川県相模原市）
5. 中西産業株式会社（東京都千代田区）
6. 大坪GSI株式会社（福岡県柳川市）

実施報告

Layer1:交流

第5回首都圏産業活性化協会ゴルフコンペ&大望年会2025

TAMA協会は2025年11月5日、オリムピックナショナルゴルフクラブ(サカワコース)で、10組(40名)によるゴルフコンペを開催しました。当日は晴天に恵まれ、好プレー・珍プレーもあり大いに盛り上がりました。

また、11月28日、八王子の焼肉店でゴルフコンペ参加者と、「つなぐWa Session・Global」のメンバーも参加して「大望年会」を開きました。参加者は積極的に交流を行い、大変有意義な時間となりました。

TAMA協会ではこのようなイベントを通して交流の場を広げ、連携や創造につなげていきます。次回の参加もお待ちしております。



スマートファクトリーJapan2025 TAMA協会ゾーン

TAMA協会では、恒例となる「スマートファクトリー Japan TAMA協会ゾーン」を昨年も企画し、6社の会員企業が出展しました。今回は「2025国際ロボット展」も同時開催となり、例年より多くの方々にTAMA協会ゾーンへ足を運んでもらいました。来年の同時期にも同様の企画を計画しますので、多くの会員企業の参加を期待します。詳細は次号で特集しますので、楽しみにしてください。

第4回AI・DX分科会「実務で使えるユースケースを3時間で習得!」

TAMA協会では2025年12月15日、東京たま未来メッセ会議室で「第4回AI・DX分科会」をワークショップ形式で開催しました。このワークショップはChatGPTまたはGeminiを実際に使用したもので、参加者は真剣にワークを行いました。終了後には交流会も開催され、大いに盛り上がりました。

第3回営業・売上UP分科会企画「営業・売上UP研究会」

TAMA協会は2025年12月18日、八王子市新産業開発・交流センターで「第3回営業・売上UP分科会(企画)」を開催しました。今回は「現状年商の壁を突破する!」と題し、日本経営士会の福島光伸氏が登壇。その後、会員企業3社による事例紹介も行いました。終了後には交流会も開催し、大いに盛り上がりました。

第13回つなぐWa Session・Global・海外展開分科会

TAMA協会は2025年12月22日、東京たま未来メッセ会議室で「第13回つなぐWa Session Global」を開催しました。今回はコアメンバーの2025年活動報告、26年に向けた抱負をメンバーから発表してもらい、意見交換を実施しました。終了後には交流会も開催され、今年の振り返りや来年の抱負などを語り合いました。

今後の予定

(予定は変更になる可能性があります。詳細はホームページをご確認ください)



Layer1:交流

第7回TAMA技術連携交流会@KISTEC

日時:2026年1月16日(金)午後

場所:神奈川県立産業技術総合研究所(KISTEC海老名本部)(神奈川県海老名市下今泉705-1)

第1部 クローズド形式によるマッチング会

第2部 オープン マッチング会(営業・売上UP分科会企画)

第3部 交流会

令和8年新春講演会・賀詞交歓会

日時:2026年1月23日(金)17:00 ~ 20:30

場所:オープンイノベーションフィールド多摩 八王子館(東京都八王子市明神町3-5-1)

嘉悦大学副学長・真田幸光教授による恒例の講演会開催(仮)「2026年の国際環境と経済情勢」～ 激動の世界経済における日本の取るべき戦略 ～

令和7年度 イノベーション・プロデューサー実証事業成果報告会

日時:2026年1月23日(金)15:30 ~ 16:45

場所:オープンイノベーションフィールド多摩 八王子館(東京都八王子市明神町3-5-1)

TAMA技術連携交流会@八王子

日時:2026年3月13日(金) 時間未定

場所:東京たま未来メッセ 展示ホールA・B・C・D

トピックス

第40回神奈川工業技術開発大賞 奨励賞にリガルジョイント

TAMA協会会員企業のリガルジョイント(相模原市)が「マニホールド型流量コントローラ-WMK」で第40回神奈川工業技術開発大賞奨励賞を受賞しました。

弁護士 高瀬総合法律事務所

困ったとき
困ることが起きる前
企業の発展をさせたい時
ぜひご相談ください。

下請法・株主総会運営
IPO・M&A
特許・知的財産

KANAGAWA OFFICE
相模原市緑区橋本6-5-10 中屋第2ビル2-E
TEL 042-770-8611 FAX 042-770-8622

TOKYO OFFICE
東京都新宿区西新宿1-20-3 西新宿高木ビル8階
TEL 03-3344-6155 FAX 050-3558-6358

株式会社厚木ミクロ

従業員の70%は未経験者

スタッフ大募集!!

事業拡大のため、一緒に働いてくれる仲間を探しています。
従来の工場のイメージとは異なる“クリーンルーム”で
最先端の「ないモノづくり」を一緒に体感してみませんか?

求人の詳細/ご応募は、厚木ミクロのホームページから
お問い合わせ ☎ 046-248-7007 9:00~17:00 (土日祝を除く)

ATSUGI MICRO CO.,LTD.
ORIGINALITY OPENS THE WAY

座学・OJTによる企業支援をチームで実践

支援先中小企業6社には、それぞれ担い手10名の中から「主担当」を1名、「副担当」を1名以上配置し、原則月1回の企業訪問と、合間のチームミーティングを1回以上実施し、課題に対する進捗状況の確認を行なった。企業訪問の際は、座学研修・ワークショップで学んだ「経営デザインシート」「MURAMATSUメソッド」(4脚ビジネス化・4機能の能力向上フレーム/右図)「OKAMURAメソッド」(メインテキスト・サブテキスト)を対話のツールとして活用し、まずは「聞く・聴く」「見る・観る」を行ったのちに、「診る(診断する)」「企てる」のフェーズに移行した。

支援を通じて、支援者自身の成長に寄与

イノベPの担い手(職員・コーディネーター)には、以下5項目の自己評価および他者評価の上昇を目指し、自身が不得手な箇所をチーム内で補うなど、協力し合える体制を構築して取り組んだ。評価5項目は以下の通り。
1.市場ニーズへのアクセス手段を有し、幅広い市場調査を通じて、中小企業のコア

令和7年度事業 イノベーション・プロデューサー活動の担い手拡大の実証

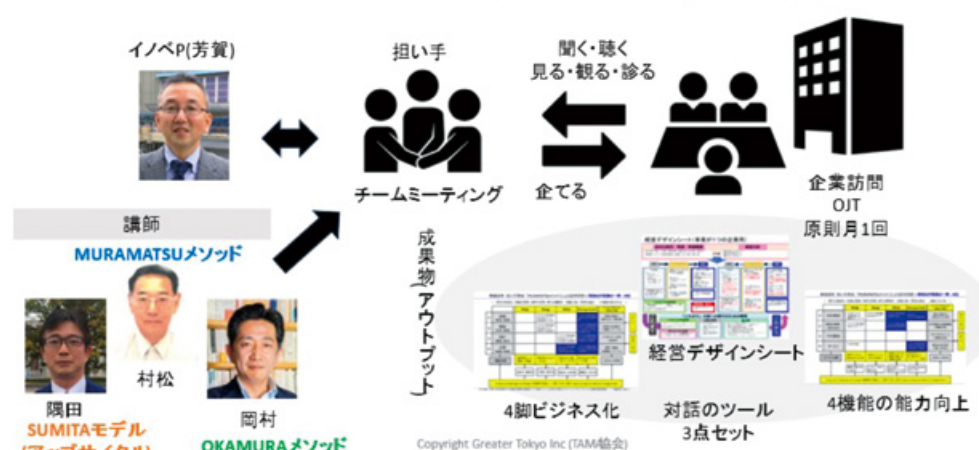


図. 令和7年度イノベPの担い手拡大の実証 業務フロー

技術・ノウハウを基に「このような商品・サービスにすれば、こうした顧客に売れる」という事業化のビジョンを構想できる。
2.イノベーションのインパクトや期待される付加価値を中小企業、技術者・研究者、新商品・新サービスの潜在的な顧客、資金提供者等、それぞれに響くメッセージに翻

訳して発信し、支援するイノベーション活動に誘い込むことができる。

3.中小企業のコア技術・ノウハウとマーケットニーズとの間にあるギャップを分析し、それを克服するため、研究開発やノウハウの磨き上げや外部機関との連携を指南できる。

4.本事業の中小企業支援としての公益性

に賛同し、多少の困難があっても、事業化までやり遂げるよう、中小企業を励まし、関係者を勇気づけることができる。
5.構想段階から事業化まで中小企業を伴走支援できる。

支援の成果は、新製品・新組織・コンセプト等さまざま

6社のうち4社は、自社製品のプロトタイプを製作し、展示会や商談会に出品し、イノベPとともに市場の声を収集。製品から商品化へ向けてのブラッシュアップを図るための支援を実践した。アップサイクルビジネスの立ち上げに取り組む2社については、未利用資源の原材料化、製品化(部材)、最終製品といった一気通貫型のビジネスシナリオの作成を支援し、商談会の設定など新規分野参入の機会を創出した。

本事業の成果報告会については、2026年1月23日15時30分から、オープンイノベーションフィールド多摩・八王子館で開催予定(詳細は今後の予定および4面を参照)。

(芳賀啓一)



広げよう会員の輪 新規会員の紹介

新規会員との意見交換・面談を希望する方は、事務局へご連絡ください。



NEW

埋もれている環境価値をクレジット化しませんか？

クreatウラ株式会社は、「かけがえのない自然を次世代へ」というミッションの下、次世代へ持続可能な社会・美しい地球環境を残すため、テクノロジーとカーボンファイナンスを駆使し、先進的なソリューションを創造することを目指す脱炭素事業支援会社です。

弊社では、みなさまが導入された省エネ・再エネ設備の環境価値をカーボンクレジットに効率的に変換いたします。そして、クレジット売買取益の還元により、投資回収の前倒し、新たな活動への投資等、次の活動の機会創出のご支援をいたします。



クreatウラ株式会社

東京都港区赤坂四丁目15番1号 赤坂ガーデンシティ 17階

TEL 03-6777-7880 URL <https://www.creattura.com>



NEW

私たちは、地域連携商社です

1 売上拡大と 商材価値向上 2 販売エリア拡大と 地域製造ネットワーク構築 3 ハブ機能を担い 経営課題解決を支援

当社は、西武信用金庫100%出資の関連会社です。

地域中小企業の方々が抱える経営課題の解決に向けて、西武信用金庫が長年培ってきた事業支援との連携を強化。売上拡大をはじめとした実効性の高い支援を実現します。

当社は東京を拠点に、地域の優れた商材を都市・地方・海外へつなぐ事業を展開しています。

株式会社西武トレーディングTOKYO

東京都中野区中野2-29-10

TEL 03-6382-7156

URL <https://seibutradingtokyo.com>



SEIBU TRADING TOKYO



NEW

設備点検から“未来工場”へ。 中小製造業のDXをもっと身近に。

FANDX社は、中小製造業向けに“使いやすいDX”を提供するクラウドサービス企業です。工場設備の点検・記録をスマート化し、ISO対応や故障予防を支援します。さらに生産管理、CAD/CAM連携、データ共有など、現場の課題から生まれた機能をワンストップで提供。現場に寄り添った仕組みづくりで、ものづくり企業の未来づくりをサポートします。



株式会社FANDX

神奈川県相模原市中央区清新5-5-8 小山コート3A-2

TEL 042-703-8880 URL <https://www.fandx.co.jp/>



NEW

世界のものづくりを支える、 FAのリーディングカンパニー

工場の自動化分野において、不断の技術革新によって、無くてはならない価値を世界中に提供し続け、すべてのステークホルダーから信頼される企業であり続けます。

FA、ロボット、ロボマシ、IoT、サービスが一体となったトータルソリューションを提供します。

グローバルネットワークを活かし、高性能かつ高信頼性の製品により、ものづくりの現場に貢献します。

ファナック株式会社

山梨県南都留郡忍野村忍草3580

TEL 0555-84-5555

URL <https://www.fanuc.co.jp>



FANUC



NEW

個人会員

村越 正啓(むらこしまさひろ) 中小企業診断士、調達・海外生産スペシャリスト 得意領域 原価管理／価格交渉・価格転嫁支援



一般社団法人 首都圏産業活性化協会

中小企業庁 令和7年度成長型中小企業等研究開発支援事業 (イノベーション・プロデューサー実証事業)

成果報告会

首都圏産業活性化協会では今年度、中小企業庁 令和7年度成長型中小企業等研究開発支援事業に応募し、採択された6社(7案件)について新製品・新サービスを生み出すための強みの認識・言語化、また新製品・新サービスの構想・具体化、差別化戦略策定などをご支援してきました。今年度のイノベーション創出の活動成果をご報告いたしますので、是非ご参加ください。

日時 2026年1月23日(金) 15:30~16:45(予定)

会場 オープンイノベーションフィールド多摩 八王子館 2Fホール(東京都八王子市明神町3-5-1)

定員 会場:60名 オンライン:100名

申し込み <https://www.tamaweb.or.jp/archives/48678>



一般社団法人 首都圏産業活性化協会

令和8年

新春講演会・賀詞交歓会



嘉悦大学 副学長
真田 幸光 教授

「2026年の国際環境と経済情勢」
～ 激動の世界経済における日本の取るべき戦略 ～

令和8年
1月23日(金)
17:00~20:30

会場 オープンイノベーションフィールド多摩 八王子館 2Fホール
東京都八王子市明神町3-5-1(JR八王子駅より徒歩10分 京王八王子駅より徒歩5分)

参加費 会員:3,000円/人(税込) 一般:5,000円/人(税込)

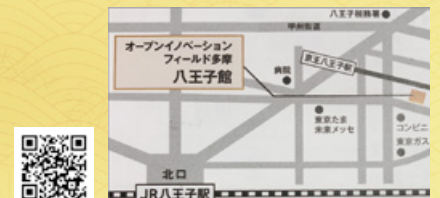
【第1部 新春講演会 17:00~18:50(予定)】

【第2部 懇親会 19:00~20:30(予定)】

立食形式の懇親会(同会場)

定員 会場:100名 オンライン:100名
会場が定員になり次第オンラインでのご参加をお願いする場合がございますので予めご了承ください。

申し込み <https://www.tamaweb.or.jp/archives/48685>



編集後記

2025(令和7)年7月、西武信用金庫からの出向の機会を得て、首都圏産業活性化協会に着任しました。これまでの金融機関での経験を活かしつつ、新たな視点や知識を日々吸収しながら業務に取り組んでいます。人と企業、人と人とおつなぎする役割を果たすためには、信頼される姿勢と誠実な対応が不可欠だと考えています。協会での活動を通じて、「安心して相談できる存在」「任せていただける職員」となるよう、地域や会員の皆様のお役に立てるよう尽力していきます。(山崎)

TAMA経済NEWS(つなぐWa)では広告協賛いただける企業を募集しています。詳細は事務局(info@tamaweb.or.jp)までお問い合わせください。

【サイズ】①横57[㍥]×縦48[㍥]、②横57[㍥]×縦100[㍥]、③横129[㍥]×縦98[㍥]、④横129[㍥]×縦142[㍥](特別枠)の計4タイプがあります。

発行元・問い合わせ

一般社団法人首都圏産業活性化協会会報「つなぐWa」は、協会ホームページに掲載し、メールマガジン等で企業・自治体・商工団体・金融機関等へご案内しています。

一般社団法人首都圏産業活性化協会 Email: info@tamaweb.or.jp URL: <https://www.tamaweb.or.jp/>

■八王子事務局

〒192-0083 東京都八王子市旭町 9-1

八王子スクエアビル 11 階

TEL:042-631-1140 FAX:042-631-1124

■羽村サテライト(月曜日休館)

〒205-0003 東京都羽村市緑ヶ丘 2-11-1

羽村市産業福祉センター 1 階

TEL:042-570-3481 FAX:042-570-3482

■相模原サテライト

〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本

5-4-21 さがみはら産業創造センター(SIC)

Desk10